



平成30年度茨城県当初予算案

～「新しい茨城づくり」へのチャレンジ～

平成30年2月

予算編成の基本方針

「新しい茨城づくり」政策ビジョンに掲げる「活力があり、県民が日本一幸せな県」づくりを推し進め、新しい4つのチャレンジに取り組む

I「新しい豊かさ」へのチャレンジ

力強い産業の創出とゆとりある暮らしを育み、新しい豊かさを目指します

II「新しい安心安全」へのチャレンジ

医療、福祉、治安、防災など県民の命を守る生活基盤を築きます

III「新しい人財育成」へのチャレンジ

茨城の未来を創る「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指します

IV「新しい夢・希望」へのチャレンジ

将来にわたって夢や希望を描ける県とするため、観光創生や魅力度向上を図ります

前例にとらわれない、「ゼロベース」でのスクラップ・アンド・ビルド

「新しい茨城づくり」へのファースト・ステップ！

一般会計予算額 1兆1,116億8,800万円

(対前年度比 ▲2億7,800万円 ▲0.0%)

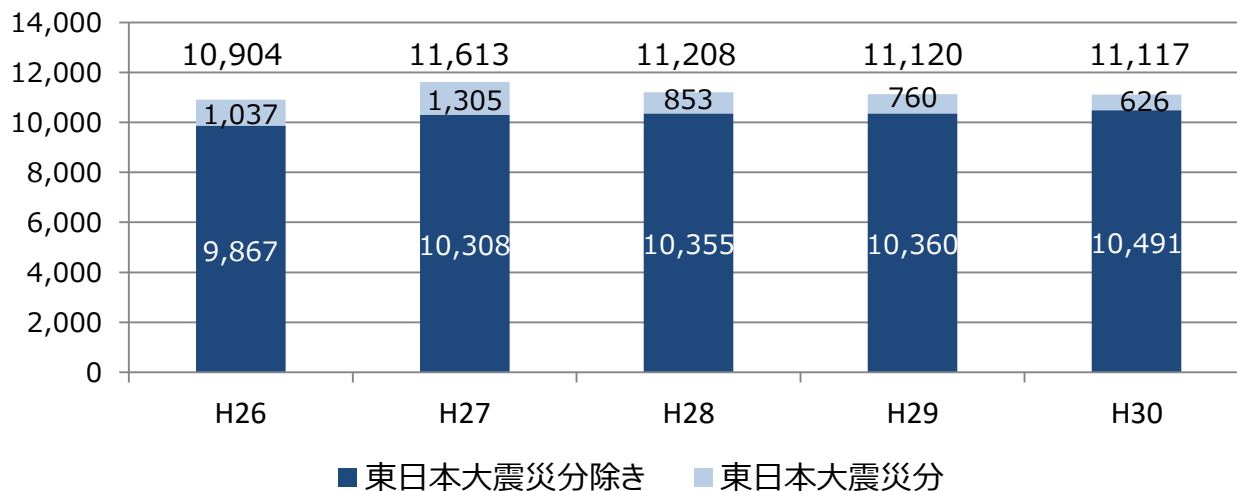
《東日本大震災関連分除き +131億3,000万円 +1.3%》

- 「新しい茨城づくり」に向けて挑戦していく事業を積極的に予算計上
- 「選択と集中」の考えのもと、メリハリのある予算を編成

⇒東日本大震災関連分を除いた予算規模は+1.3%
一方で、通常県債残高は307億円縮減

一般会計当初予算額の推移

(単位：億円)



I 「新しい豊かさ」へのチャレンジ



Point

質の高い雇用創出に向けた産業育成

つくばへの研究機関等の集積や東京圏との近接性、農業産出額全国第2位の本県農業を最大限活用した企業誘致や産業育成

★「最大50億円」、全国トップレベルの研究施設・本社機能誘致補助制度を創設

AIやIoTなど新たな成長分野の研究施設や本社機能等の移転を促進

新 企業誘致活動強化事業（本社機能移転強化促進補助） 5,000百万円

★「研究室から創業まで」、ベンチャー企業創出を強力に支援

優れた技術シーズの発掘・事業化から定着までを一貫して支援し、本県から世界に挑戦するベンチャー企業を創出

新 ベンチャー企業創出支援事業 76百万円

★「茨城発、儲かる農業」、農地集約を加速化する政策モデルを確立

100ha超の水稲経営体を3年で育成する支援制度を創設し、農業の成長産業化を促進するとともに、新たな政策モデルとして国に提案

新 茨城モデル水稲メガファーム育成事業 85百万円

II 「新しい安心安全」へのチャレンジ



Point

医師不足緊急対策行動宣言による抜本的な医師確保対策

これまでの常識にとらわれず、新たな発想により、あらゆる手段を講じ、県民一丸となって医師確保対策に取り組む

★「いばらき医療大使を任命」、知事を先頭に足で稼ぐ「営業」を展開

全国の医科大学や本県ゆかりの県外医師へ積極的なリクルーティングを展開

新 県外からの医師確保強化事業 104百万円

★「全国初、実質金利ゼロ」、医学部進学者向け教育ローンを創設

金融機関と提携し、医学部進学者に対して在学中の借入金利の支払いを支援

新 医学部進学者向け教育ローン利子補給事業 利子補給率100%

★「子育て医師をみんなで応援」、病児保育支援体制を県内全域に拡大

子育て中の女性医師等が、朝、電話一本で病児を預けられる緊急コール体制を構築

新 魅力的な医療勤務環境整備事業 38百万円

Ⅲ 「新しい人財育成」へのチャレンジ



Point

新しい時代に適応できる教育の推進と環境の充実

世界に羽ばたく「人財」を育成するためのネット教育の推進と、茨城の未来を支える「人財」のための奨学金助成制度等の充実

★「グローバル人財育成」、トップレベルの英語学習の機会を提供

英語の学習意欲・能力の高い中高生に、インターネットを活用したトップレベルの学習やイングリッシュキャンプ等への参加プログラムを提供

新 次世代グローバルリーダー育成事業 30百万円

★「トップ層育成とすそ野拡大」、プログラミングを学べる機会を提供

インターネットを活用して、全国トップレベルのプログラミング能力を持つ中高生を育成するとともに、多くの学生がプログラミングに興味を持つような学習サービスを提供

新 プログラミング・エキスパート育成事業 47百万円

★「茨城型就学支援」、就職支援奨学金助成制度と入学一時金貸付制度を創設

企業版ふるさと納税を活用した奨学金返済への助成制度と、返還免除のある入学一時金の貸付制度により、Uターン就職・地元就職を促進

新 就職支援基金積立金 15百万円 **新** 就職支援奨学金助成費（入学一時金貸付分） 5百万円

IV 「新しい夢・希望」へのチャレンジ



Point

魅力度No.1プロジェクトの推進

本県の多様な魅力を国内外に戦略的・効果的に発信するとともに、豊富な地域資源を活用し、多くの人に来てみたいと思われる I B A R A K I へ

★「プレミアムなホテル・旅館誘致」、最大10億円の補助制度を創設

本県の新たなフラッグシップとして観光イメージをアップさせることが期待できるホテル等の立地を促進

新 宿泊施設立地促進事業（宿泊施設立地促進補助） 1, 000百万円

★「Visit Ibaraki」、ターゲットに応じた戦略的な海外誘客プロモーション

台湾・東南アジアへの海外誘客拠点（観光レップ）の設置や、増加する個人観光客向けに海外の有名オンライン旅行サイト等を活用した情報発信の強化、旅行商品の造成

新 ビジット茨城・海外誘客プロモーション事業 132百万円

★「全面リニューアル」、アンテナショップの情報発信力強化

内装や商品ラインナップを高付加価値化し、新たなコンセプトで厳選された逸品を世界に誇れる「茨城ブランド」として国内外へ発信

拡 いばらきアンテナショップ運営事業 282百万円

「ゼロベース」でのスクラップ・アンド・ビルド～事務事業総点検～

- 限られた財源とマンパワー（人員）の中、未来を展望した政策展開を図るためには、メリハリを意識した施策の「選択と集中」を進めることが必要
- 本県の将来を見据えた新たな取組に注力する前提として、これまで実施してきた事務事業（約2,000事業）をゼロベースで総点検した結果、207事業、約18億円を削減

視点1 所期目的達成の事業や成果向上が見込めない事業等の休廃止

99事業：690百万円

- 大好きいばらき地方創生応援事業費（19,978千円） …地域活動団体への補助金の廃止
- 県北アウトドア魅力発信事業費（9,624千円） …イベント開催等の廃止
- 森林機能緊急回復整備事業費（255,008千円） …環境税第2期の森林の間伐計画終了に伴う廃止

視点2 対象事業の絞り込みなどにより、事業費を縮減した事業

75事業：411百万円

- いばらき就職支援センター事業費（6,905千円） …相談件数を踏まえた体制の見直し
- いばらき食彩の里推進事業費（1,139千円） …首都圏での常陸秋そばフェア開催箇所の見直し
- 茨城型地域包括ケアシステム推進事業費（18,319千円） …在宅用医療機器整備等への補助等の縮減

視点3 成果向上が見込めるように事業内容を見直した事業等

33事業：718百万円

- テレビ情報発信強化事業費（111,086千円） …在京キー局での放送内容の一新
- 医師確保関連事業（104,923千円） …医師不足緊急対策行動宣言に基づく政策パッケージへの転換
- 農家・農業団体等向け補助事業（133,705千円） …儲かる農業の実現に向けた新たな補助制度へ見直し



「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現へ

**平成30年度は「新しい茨城づくり」への
ファースト・ステップ！**